

1 - 2 検討項目<各論>

	検討項目、内容	提案者	
5. 治水	5 - 1 方向性、考え方	水害の許容範囲	川上委員 (No 2)
		水系・流域の場所ごとに河川流量をどこまで考えればよいか	榊屋委員 (No 7)
		洪水の役割の評価	川上委員 (No 2)
		危機意識の低下 (淀川における甚大な被害の発生が少ない等)	河川管理者 (No 1 2)
		防災コストと被害とB/C 安心に払うコストの妥当性 (どれだけあれば妥当といえるのか)。	谷田委員 (No 5) 山本委員 (No 8)
		総合治水、流域レベルでの防災	川上委員 (No 2)、谷田委員 (No 5)
		狭窄部による上下流の治水問題	河川管理者 (No 1 2)
		淀川水系に特有の防災プラン (びわ湖がダムとして機能)	谷田委員 (No 5)
		気候変動に対する考え方	河川管理者 (No 1 2)
		留意すべき災害 (液状化現象、局所的集中豪雨など)	川上委員 (No 2)
	5 - 2 洪水	堤防について (整備方向、役割、利用など)	榊屋委員 (No 7)
		破堤の危険性 (越水、浸透、洗掘)	河川管理者 (No 1 2)
		実績降雨でさえも発生する溢水被害 (無堤地区等)	河川管理者 (No 1 2)
		氾濫域土地利用の高度化 (人口資産の集中)	河川管理者 (No 1 2)
		水害危険度を考慮しない土地利用 (低地への開発拡大、地下街等)	河川管理者 (No 1 2)
		山林、農地の保水機能評価	河川管理者 (No 1 2)
	ダム下流域の冠水 (日吉ダム下流)	河川管理者 (No 1 2)	
	5 - 3 高潮	陸開操作の社会的コスト (国道、鉄道等の通行止めによる影響等)	河川管理者 (No 1 2)
	5 - 4 地震、津波	下流部耐震対策の未了区間の存在	河川管理者 (No 1 2)
		津波時の淀川大堰操作の必要性和避難体制の確立	河川管理者 (No 1 2)
5 - 5 ソフト面での防災	今後の水防のあり方	榊屋委員 (No 7)	
	水防団について (人員の確保、財政支援の仕組み、精神の継承、現代的な存続の可能性)	川上委員 (No 2)、榊屋委員 (No 7)	
	氾濫域減災対策の遅れ	河川管理者 (No 1 2)	
	地域防災計画等における破堤時対応の欠如	河川管理者 (No 1 2)	
6. 利用	6 - 1 方向性、考え方	水域利用・河川敷利用の今後のあり方。	有馬委員 (No1)、原田委員 (No 6)、榊屋委員 (No 7)、 山本委員 (No 8)、河川管理者 (No 1 2)
		安定的水供給	川上委員 (No 2)、河川管理者 (No 1 2)
	6 - 2 河川空間利用 (水域、高水敷)	不法行為対策。河川敷、民有地での耕作等に対する今後の方針。草刈り後の処分方法	川上委員 (No 2)、河川管理者 (No 1 2)
		不法建築物等の是正の遅れと既得権化	河川管理者 (No 1 2)
		ホームレスの増加	河川管理者 (No 1 2)
		河川敷利用者の増加とダム放流時の安全確保	河川管理者 (No 1 2)
		河川敷利用者のマナーの低下等	河川管理者 (No 1 2)
		遊泳場の消滅 (安心して泳げない)	河川管理者 (No 1 2)
		産業の衰退 (漁業の衰退、ヨシ採草の衰退、土砂採取の減)	河川管理者 (No 1 2)
		堤防を治水以外に利用する方法	榊屋委員 (No 7)
		ダム湖の多様な湖面利用を、水質管理のため制限する適切な貯水池管理の必要性	河川管理者 (No 1 2)
		ダム湖の活用 (水源地域のダム湖を活かした地域の活性化)	河川管理者 (No 1 2)
	舟運の復活 (淀川の航路化の可能性、需要、必要性等の検討)	川上委員 (No 2)、谷田委員 (No 5)、河川管理者 (No 1 2)	
	6 - 3 水利用	恒常化する渇水被害	河川管理者 (No 1 2)
		水需要抑制策 (住民の節水) の欠如	河川管理者 (No 1 2)
		水道水の味覚に対する満足度の低さ (不味く、臭い水)	河川管理者 (No 1 2)
		水質の安全性 (微量有害物質、水質事故等)	河川管理者 (No 1 2)
		浄水処理の高コスト化	河川管理者 (No 1 2)
		農業形態変化に対応していない取水実態	河川管理者 (No 1 2)
	7. 環境	7 - 1 方向性、考え方	都市河川「淀川」に求められる河川生態系の姿
河川の自由な流れの拘束 (洪水時:洪水エネルギーの集中と増大、平常時:河床変動の安定化、汽水域の減少)			河川管理者 (No 1 2)
水、土砂、生物の縦断方向 (山~河川~海) の不連続			河川管理者 (No 1 2)
水域から陸域への横断方向不連続 (地形、水、土、植生、生物)			河川管理者 (No 1 2)
開放系から閉鎖系への変化 (河川と周辺環境間のやりとりの消滅、周辺湿地、田畑と河川との間の生物の行き交い、魚介類、ヨシ等の採取による河川から外部への物質移動 (漁獲量の減少、採草量の変化))			河川管理者 (No 1 2)
景観の変化 (川と街、地域の一体的景観の消滅、単調化・淀み化、ダム湖の裸地等)			河川管理者 (No 1 2)
河川へのアプローチ (河川に背を向けた街づくり、河川へのアクセラートの不備等)			河川管理者 (No 1 2)
7 - 2 生物、生態系		希少植物/普通の植物についての考え方	川上委員 (No 2) 谷田委員 (No 5)
		琵琶湖・淀川水系の生物的固有性 (地球史的背景も含む)	河川管理者 (No 1 2)
		生態系の変化 (既存種・固有種の減、外来種の増/ウェットな生態からドライな生態/魚の病気)	河川管理者 (No 1 2)
外来種への対策について		川上委員 (No 2)	
7 - 3 水量、水質		化学物質の問題 (微量有害物質、発ガン物質、環境ホルモン物質、遺伝毒性~変異原性、ダイオキシン)	川上委員 (No 2)
		法規制や水質の基準について	川上委員 (No 2)
		水質汚濁 (自浄能力を超えた汚濁流入等)	河川管理者 (No 1 2)
		ダム等を含む上流部水質悪化	河川管理者 (No 1 2)
		渇水時の流量不足 (水質、生息環境への影響)	河川管理者 (No 1 2)
		選択取水設備のないダムでの冷水対策	河川管理者 (No 1 2)
		淀川流水保全水路をどうするのか	川上委員 (No 2)
7 - 4 河川形状		河床が変化しない (転石)・淵・瀬が形成されない。	川上委員 (No 2)
		冠水しない高水敷・中流域の湛水化/河道容量増加のための河床拡幅・掘削による水面低下/氾濫原管理・ドライからウェットへ	川上委員 (No 2)
	土砂供給の減少 (生息環境、景観への影響)	河川管理者 (No 1 2)	
ダム堆砂対策 (将来の機能低下の懸念)	河川管理者 (No 1 2)		
8. 住民の意見聴取・反映方法	住民のとらえ方 (流域人口1,100万人、給水人口1,600万人という膨大な人口数十回に亘る委員会及び部会の認知度並びに審議経過への認識度)	河川管理者 (No 1 2)	